

現 状

南丹市では、令和2年10月、B&G財団の助成を受け、こども第三の居場所として「南丹市子ども家庭サポートセンター」（愛称：Ruri（ルリ））を開設し、令和5年9月末までの3年間はB&G財団の助成金により運営をしてきました。

令和6年度からは、こども家庭庁の「子ども・子育て支援交付金」の補助により、運営を実施しているところです。

「Ruri」でのこどもたちの過ごしや活動については、こどもや家庭が抱える多様な課題に応じて、こどもが安心できる居場所であることを大前提とし、こどもの自立や自律、自分らしく生きる力をつけて社会とかかわれるよう、生活習慣の形成や学習のサポート等を通じて個別のプランに基づいて支援しているところです。

現状として、利用児童数も増加し、市内小中学校や放課後児童クラブ等で認知されるようになり、こども自身の成長や学校での過ごしに変化が見られるようになっています。

課 題

今後の課題として、こどもへの支援だけでなく、こどもと保護者の交流事業など保護者含めた支援を強化していく必要があります。

また、もう一つの課題として、地域との交流を進めることです。地域の方々の支え、交流を図りながら今後持続可能な居場所の運営が必要であると考えています。

これらの課題を解決するために、今年度も引き続き「1、保護者との交流事業」と「2、地域との交流事業」を重点事業として取り組みます。

南丹市概要

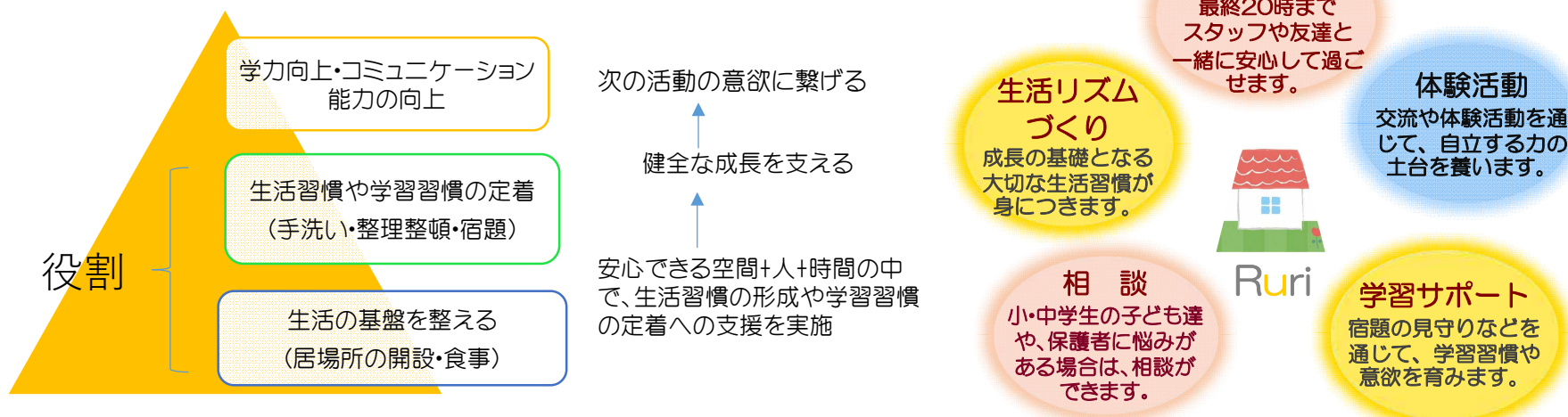


南丹市（なんたんし）は京都府の中央部に位置する東京23区とほぼ同じ面積を持った地域で市域の88%が森林です。令和8年4月1日時点での総人口は28,911人で、そのうち18歳未満の人数は3,537人です。

■令和8年度事業 「サポート教室」の運営

：安心できる居場所の提供、生活習慣や学習習慣の定着、体験活動等

事業内容



■令和8年度重点事業

1. 保護者との交流事業：

①合同体験活動の実施：行事「バーベキュー」

日ごろ「Ruri」での活動を通して身につけたスキル（調理や配膳など）を保護者に見てもらい、こどもの成長を共に喜び合う機会として実施。あわせて、こどもと保護者が一緒に調理などの体験をして交流することによって、「ほめてもらえる」「認めてもらえる」の経験を通して、自己肯定感を高めることを目的として実施する。

2. 地域との交流事業：

①農業団体との交流事業「さつまいも植えといも掘り」を実施し、地域の方と一緒に作物を育てる体験をする。

②体験活動の実施：年に2回程度、地域の方に「Ruri」に来ていただいて、体験活動を実施する。

③地域の夏祭りに参加：地域の夏祭りの行事にスタッフの一員として参加する。

■寄附希望額：10,000千円以内

※総事業費当初予算：2,649千円（重点事業を含む管理運営費）＋人件費7,434千円

10万円～・お礼状の送付

- ・市HPにおける企業様名やメッセージ、企業リンク等の掲載
- ・市広報誌でのご紹介

50万円～・教育長からの感謝状贈呈および対談場の設定

- ・利用児童からの感謝の声を届ける場の設定
- ・利用児童からの感謝の声を届ける場における地元新聞社と地元テレビ局による取材の実施
- ・市広報誌でのご紹介
- ・市HPにおける企業様名やメッセージ、企業リンク、サービスサイトリンク等の掲載

【担当】 京都府南丹市教育委員会こども家庭センター こども家庭課

電話：0771-68-0028

メール：be-kodomo@city.nantan.lg.jp